

令和元年度 クリーニング師試験 筆記試験問題

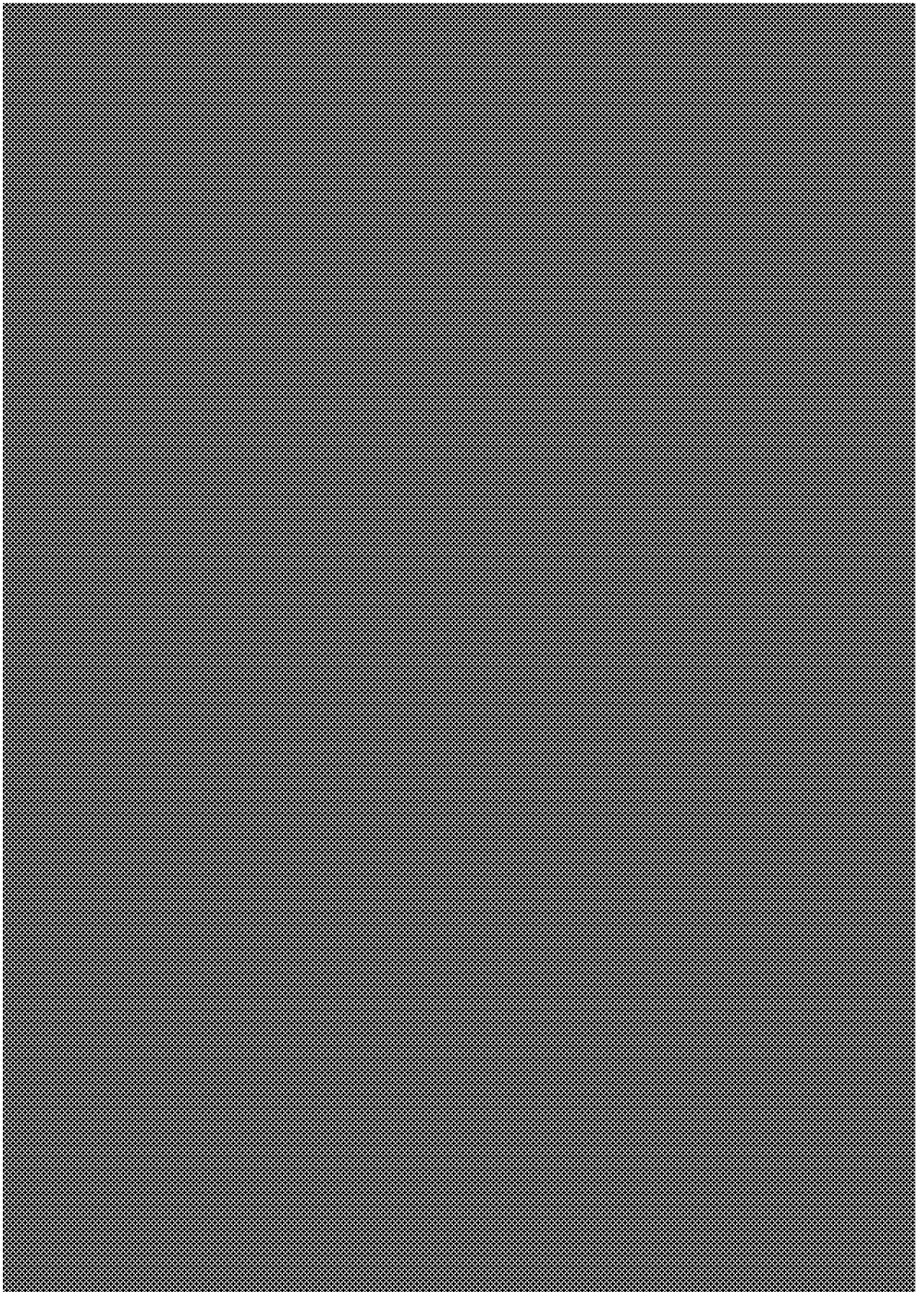
試験日	令和元年10月23日(水)
試験時間	午前9時30分～10時15分

【受験上の注意事項】

- 1 問題用紙と解答用紙は別々です。解答は必ず解答用紙に記入してください。
- 2 解答用紙に、受験番号と氏名を記入してください。受験番号が記入されていない場合は、解答が無効となります。
- 3 問題は、衛生法規に関する知識：5問、公衆衛生に関する知識：5問、洗濯物の処理に関する知識：5問で全15問です。
- 4 試験時間中に発言をしてはいけません。用事があるときには黙って手をあげてください。なお、問題の内容に関する質問には、一切お答えできません。
- 5 試験時間は45分間です。試験開始後20分が経過したら退室できますが、退室した後は、再入室することはできません。
- 6 試験問題は持ち帰ることができます。

指示があるまで、この問題用紙を開いてはいけません。

山 梨 県



衛生法規に関する知識

【問題 1】

クリーニング業法に規定する定義についての記述のうち、正しいものはどれか、一つ選んでその番号を解答用紙に記入しなさい。

- 1 「クリーニング業」とは、溶剤又は洗剤を使用して、衣類その他の繊維製品又は皮革製品を原型のまま洗濯することを営業とすることをいう。
- 2 「営業者」とは、洗濯をしないで洗濯物の受取及び引渡しをするクリーニング業を営む者は含まない。
- 3 「クリーニング師」とは、厚生労働大臣がクリーニング師試験に合格した者に与える免許を受けた者をいう。

【問題 2】

次のクリーニング業法に規定する目的に関する記述について（ ）の中に入る語句の組み合わせとして、正しいものはどれか、一つ選んでその番号を解答用紙に記入しなさい。

この法律は、クリーニング業に対して、（ ア ）等の見地から必要な指導及び取締りを行い、もってその経営を公共の（ イ ）に適合させるとともに、利用者の（ ウ ）の擁護を図ることを目的とする。

- | | （ ア ） | | （ イ ） | | （ ウ ） |
|---|-------|---|-------|---|-------|
| 1 | 公衆衛生 | — | 福祉 | — | 利益 |
| 2 | 健康増進 | — | 利益 | — | 衛生 |
| 3 | 環境衛生 | — | 衛生 | — | 健康 |

【問題 3】

クリーニング業法施行規則の規定により、クリーニング所において、苦情の申し出先として、洗濯物の受取及び引渡しをしようとする際に書面により配布する内容として、正しいものはどれか、一つ選んでその番号を解答用紙に記入しなさい。

- 1 名称、所在地、電話番号
- 2 名称、営業者氏名、電話番号
- 3 名称、所在地、営業者氏名

【問題 4】

クリーニング業法施行規則に規定するクリーニング師の研修及び業務従事者に対する講習についての記述のうち、誤っているものはどれか、一つ選んでその番号を解答用紙に記入しなさい。

- 1 クリーニング所の業務に従事するクリーニング師は、業務に従事した後 1 年以内に都道府県知事が指定したクリーニング師の資質の向上を図るための研修を受けなければならない。
- 2 営業者は、そのクリーニング所の業務に従事するクリーニング師に対し、都道府県知事が指定したクリーニング師の資質の向上を図る研修を受ける機会を与えなければならない。
- 3 クリーニング所の業務に従事するクリーニング師は、クリーニング師の研修を受けた者であっても業務従事者に対する講習を受けたことにはならない。

【問題5】

クリーニング業法に規定する営業者の衛生措置についての記述のうち、誤っているものはどれか、一つ選んでその番号を解答用紙へ記入しなさい。

- 1 洗濯物を洗濯又は仕上げを終わったものと終わらないものに区別しておくこと。
- 2 洗場については、床が、浸透性材料で築造されていること。
- 3 伝染性の疾病の病原体による汚染のおそれのある洗濯物は、洗濯が消毒の効果を有する方法によってなされる場合においては、消毒しなくてもよい。

公衆衛生に関する知識

【問題 6】

ウインスローの公衆衛生の定義について、() 内に入る語句の組み合わせとして、正しいものはどれか、一つ選んでその番号を解答用紙に記入しなさい。

公衆衛生とは、環境衛生の改善、(ア)、個人衛生の原則についての個人の教育、疾病の早期診断と治療のための医療と看護サービスの組織化、および地域社会のすべての人に、健康保持のための適切な生活水準を保障する社会制度の発展のために、共同社会の(イ)な努力を通じて、疾病を予防し、寿命を延長し、肉体的、精神的健康の能率の増進をはかる科学であり、(ウ)である。

	(ア)	(イ)	(ウ)
1	栄養状態の向上	組織的	活動
2	伝染病の予防	組織的	技術
3	伝染病の予防	集団的	技術

【問題 7】

クリーニング所における感染症対策についての記述として、正しいものはどれか、一つ選んでその番号を解答用紙に記入しなさい。

- 1 感染拡大の原因が主に経口感染（口から体内に病原体が入る）である感染症については、「手洗い」は予防策として効果がない。
- 2 手に目に見える汚染がある場合は、流水で洗浄した後に、布タオルで手を拭くことが望ましい。
- 3 洗濯前の委託物に触れる場合には、マスクとエプロンの着用と接触後の手洗いが重要である。

【問題 8】

次の感染症のうち、蚊が媒介する感染症として誤っているものはどれか、一つ選んでその番号を解答用紙に記入しなさい。

- 1 手足口病
- 2 ジカウイルス感染症
- 3 デング熱

【問題 9】

クリーニング所における衛生管理要領に規定されている指定洗濯物の消毒方法についての記述のうち、誤っているものはどれか、一つ選んでその番号を解答用紙に記入しなさい。

- 1 蒸気による消毒では、蒸気がま等を使用し、100℃以上の湿熱に10分以上触れさせること。
- 2 熱湯による消毒では、60℃以上の熱湯に5分以上浸すこと。
- 3 塩素剤による消毒では、遊離塩素250ppm以上の水溶液中に30℃以上で5分以上浸すこと。

【問題10】

ノロウイルスによるものと思われる吐ぶつが付着したリネン類の処理についての記述のうち、正しいものはどれか、一つ選んでその番号を解答用紙に記入しなさい。

- 1 リネン類は、付着した汚物が乾燥して落ちにくくならないよう、速やかに流水でしっかりと洗い流す。
- 2 下洗いしたリネン類の消毒は、75℃・1分間以上又は70℃・10分間以上の熱水洗濯をする。
- 3 熱水洗濯が行えない場合には、次亜塩素酸ナトリウムによる消毒を行うことが有効であるが、次亜塩素酸ナトリウムには漂白作用があるので、薬剤の「使用上の注意」を確認すること。

洗濯物の処理に関する知識

【問題 1 1】

汚れの種類についての記述で、誤っているものはどれか、一つ選んでその番号を解答用紙に記入しなさい。

- 1 水溶性汚れは、水に溶ける汚れであり、汗、尿、墨汁、細菌、カビなどがある。
- 2 油性汚れは、溶剤に溶ける汚れであり、油脂、皮脂、機械油などがある。
- 3 不溶性汚れは、水にも溶剤にも溶けない汚れであり、ホコリが主で泥、セメント、金属粉などがある。

【問題 1 2】

シミ抜きについての記述で、誤っているものはどれか、一つ選んでその番号を解答用紙に記入しなさい。

- 1 油性のシミに使用するシミ抜き剤には、シンナー、モノクロロベンゼン、アセトンなどがある。
- 2 市販の水溶性シミ抜き剤のうち、アルカリ性のものはタンニン系のシミに、酸性のものはタンパク系のシミに使用する。
- 3 不溶性のシミに使用するシミ抜き剤には、潤滑作用のある石けん、グリセリンなどがある。

【問題 1 3】

ドライクリーニング溶剤についての記述で、誤っているものはどれか、一つ選んでその番号を解答用紙に記入しなさい。

- 1 テトラクロロエチレン（パーク）は、引火点が「なし」であるので引火爆発の危険性はない。
- 2 石油系溶剤は、引火点が「38℃以上」であり、消防法や建築基準法の規制を受ける。
- 3 日本国内で使用されているドライクリーニング溶剤は、テトラクロロエチレン（パーク）の比率が圧倒的に高く、次が石油系溶剤である。

【問題 1 4】

次の記述は、ランドリーで主に使用されるある漂白剤について説明したものである。この漂白剤として適当なものを一つ選んでその番号を解答用紙に記入しなさい。

- ・低温で漂白効果があるが、高温では急激な分解が起こり、生地を損傷する。
- ・綿、麻などのセルロース系繊維に適し、絹、毛、ナイロン、ポリウレタン、染色物には使用できない。

- 1 過炭酸ナトリウム
- 2 次亜塩素酸ナトリウム
- 3 酸性亜硫酸ナトリウム

【問題 15】

界面活性剤についての記述で、誤っているものはどれか、一つ選んでその番号を解答用紙に記入しなさい。

- 1 洗剤の主成分である界面活性剤には、アニオン（陰イオン）系、カチオン（陽イオン）系、ノニオン（非イオン）系、両性イオンの4タイプがある。
- 2 アニオン（陰イオン）系の界面活性剤とノニオン（非イオン）系の薬剤を併用することは差し支えない。
- 3 アニオン（陰イオン）系の界面活性剤とカチオン（陽イオン）系の薬剤の併用は、両者の結合による相乗効果が期待されるため最適である。